

管理者に求められる 「指導方法」など解説

プロデキューブ 大林氏

【兵庫】矢崎エナジィ
システムの「新製品内
覧会」にセットされた

入場無料のセミナー。14日、会場の伯馬楽座(養父市)に集まった運送経営者を前に、講師を務めた大林謙太氏(プロデキューブ)は今年2月までトレーラのドライバーだったという変わりダネ。

「乗務員だった当時
にイヤだった」という
体験を踏まえ、管理者
に求められる「交通事
故に遭わな
い防衛運
転の指導方
法」がテー
マ。「当
り前の話だ
が、社内
ルールを
破ったから
といて警
察や国交省が指導して
くれるわけではない。
そうした部分を放置せ



ず、「口うるさい大人」
になることが管理者に
期待されている」と話
した。

「クライアントであ
る運送会社のトラック
が信号待ちで前方車両

に張り付くように停
車していたのを見か
け、そのドライバーに
理由を聞くと『急いで
いたので…』という説
明のつかない話。ス
パーなどの駐車場に車
を止める際、ボデー
がボコボコの車両が横
にあっても気にせず
止めるというのと同じ
で、要は『危ないもの
を、危ないと思う』こ
とが大切」と意識改革
の必要性を指摘。

そのうえで『「大事
故は起こしていない』
という運送会社は少な
くないが、それは食中
毒を出した飲食店の
オーナーが『大した食
中毒ではない』と話す
ようなもので、そんな
言い分は通用するはず
がない』と管理者の認
識のズレも問題視。「交

通事故は安全運転で減
らせるが、ゼロにする
ためには防衛運転を成
立させるための考え
方、指導が求められる』
と話した。(長尾和仁)